

2014年9月19日

各位

会社名 マックスバリュ東北株式会社  
代表者名 代表取締役社長 内田和明  
(コード番号 2655 東証第2部)  
問合せ先 取締役経営企画本部長 山内紀幸  
(電話 018-847-2792)  
当社の親会社 イオン株式会社  
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田元也  
(コード番号 8267 東証第1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2014年4月8日に公表した2015年2月期第2四半期累計期間(2014年3月1日～2014年8月31日)の業績予想を以下のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正

2015年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2014年3月1日～2014年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 58,000	百万円 500	百万円 450	百万円 200	円 銭 11 37
今回修正予想 (B)	57,011	222	220	113	6 26
増減額 (B-A)	△989	△278	△230	△87	
増減率 (%)	△1.7	△55.6	△51.1	△43.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2014年2月期第2四半期)	49,960	251	280	103	5 86

### 2. 修正の理由

2015年2月期第2四半期累計期間においては、個人消費の停滞や競争環境の激化、人口減少など依然として厳しい状況にある中、お客さまの日々のくらしのニーズにこだわった品揃えによる営業力の強化と、イオンのブランド「トップバリュ」の売上拡大等による収益力の改善、おもてなしの心がこもった接客と魅力ある売場づくりに取り組んでまいりました。

こうした取り組みを実施いたしましたが、消費税率引き上げ前後の駆け込み需要とその反動、梅雨明け以降の天候不順などの影響があり、期間中の既存店売上高は対前年同期比98.4%となりました。一方付加価値を高めた即食性・簡便性を持つ商品群の充実や売価変更ロス削減などに努めた結果、売上総利益率は前年同期比0.3ポイント改善する見通しです。また経費面では、収益性の向上のためコスト構造改革を継続して進めた結果計画の範囲内となる見込みですが、販売費及び一般管理費の増加率が営業総利益率の伸びを上回ることとなり、営業利益、経常利益、四半期純利益は当初予想を下回る見通しとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、2014年4月8日に公表しました業績予想を変更いたしません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上